

しんじょう

2024. 3. 27
すさき・かわうそクラブ会報
—No.34—
発行：すさき・かわうそクラブ事務局

令和5年度 すさき野外博物館

バッタの仲間の観察会

10月14日（土）

午前中は虫の採集、午後は捕った虫で標本作り体験という2部制で実施をしました。

新荘公民館前の河川敷の草むらで虫捕りを楽しんだ後は、虫の生態や生息地など、種ごとに講師より説明をもらいました。

【今回捕まえた虫たち】

バッタの仲間、コオロギの仲間、トンボの仲間、オオカマキリ、キアゲハの幼虫 など16種類



標本作りでは、虫を固定する高さや羽の角度など綺麗に見せる工夫が多くありました。難しい工程もありましたが、子どもたちも講師や保護者に手伝ってもらいながら、自分だけの標本作りを進めていきました。



【手順】

- ① クロロホルムで満たした筒の中に虫を入れる
- ② 腹または首の後ろから内臓を取り除き、脱脂綿で水分などを拭き取る
- ③ 発泡スチロールの土台に形を整えながら針で刺し固定する
- ④ 虫の名前・捕まえた日や天気・作成者名などを記録して保管する

鳥のイサ台作り・観察会

12月3日（日）

新荘公民館にて、鳥のイサ台作りを行いました。当日公民館の周りに鳥がおらず、鳥の観察会は思うようにできませんでした。

イサ台作りの前に、講師より作り方や鳥を呼ぶ方法について説明がありました。

- ・鳥の繁殖時期は2月頃で、10月には巣を作るため、それまでにイサ台を構えると良い
- ・イサ台の近くに水浴びができる水場（水深2〜3cm）を置くと良い
- ・イサを置く時間を決めておくと鳥がその時間を覚えて来てくれるようになる



令和6年度 すさき野外博物館（予定）

- ① ホタルとカエル
- ② ジンデ池の生きものの調査
- ③ 昆虫標本作り
- ④ 水鳥の観察

ぜひご参加ください！



今回作成したのは、牛乳パックやペットボトルで作れるイサ台と、シジューカラなどが好む落花生をつないだ形のもので、イサ台の材料はすぐに手に入るもので、作り方もとても簡単でした。参加者は、どうすれば鳥が来てくれるのか考え、工夫を凝らしながら、オリジナルのイサ台を作っていました。